









































高岡市指定 天然記念物

沢川田畑家の大杉

昭和四十五年十二月二十四日指定

田畑家正門の入口に立つこの大杉は、樹齢約五百年と推定され、樹種はヤワラ杉（葉が柔らかい杉の変種）と思われます。幹回りは四・七m、樹高約三〇mに達します。鬱蒼とした樹勢もあつてかつては天狗が棲むと恐れられていました。

田畑家の先祖は能登口郡の領主、三宅弾正家秀配下の武士と考えられ、家秀から宝達山麓の二百数十町歩の山林を安堵されています。

天正十二年（一五八四）の末森城の戦い（佐々成政×前田利家）では、田畑兵衛が成政勢の道案内を行い、わざと山中をさまよわせて前田方を勝利に導いた話は有名です。

この結果、前田利家により従来からの所領を安堵され、寛永四年（一六二七）以降には、代々加賀藩の御扶持人山廻役に任命されています。

江戸時代の初めに田畑家がこの地へ屋敷を移築し、土塁や堀をつくる際には、この木を残すために大変苦勞したという話が伝えられています。

高岡市教育委員会































































